

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	理科Ⅱ(2単位)
年間目標	細胞のレベルで見た生物のからだのつくりと生殖について理解させるとともに、親の形質が子に伝わる現象について認識させる。また、地球の運動によって生じるほかの星の規則的な運動についての認識を深める。さらに、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し、自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりすることができるようにする。
使用教科書	東京書籍『新編 新しい科学 3年』
使用補助教材	『実力練成問題集 理科 3年 2016』
	正進社『新理科表 デラックス』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖 1 生物の成長と細胞の変化 2 無性生殖 3 有性生殖 4 染色体の受けつがれ方	体細胞分裂について 植物と動物の無性生殖について 植物と動物の発生について 減数分裂と有性生殖・無性生殖の比較	観察・実験を通して生物の成長と増え方を、細胞レベルでとらえるとともに、細胞分裂のようすを理解する。また、植物、動物の生殖、親から子に形質が伝わるしくみについて学習することにより、生命の連続性が保たれることについて理解する。 メンデルの実験結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解する。また、遺伝子の本体がDNAであること、これらに関する研究成果が日常生活や社会の様々な分野で活用されていることについて認識を深める。
	後 半	第2章 遺伝の規則性と遺伝子 1 遺伝の規則性 2 遺伝子やDNAに関する研究成果の活用	メンデルの実験と法則について 農業への応用などについて	
2 学 期		単元4 地球と宇宙 第1章 宇宙の広がり 第2章 地球の運動と天体の動き 1 天体の位置の表し方 2 地球の自転と天体の動き 3 地球の公転と星座の移り変わり 4 季節の変化	銀河系の構造と太陽系の構造について 惑星の種類とその特徴について 地球の自転について 日周運動について 年周運動について 季節が変化する理由について	銀河系のようすや太陽系を構成している惑星、その他の小天体のようすを知ること、宇宙の広がりに関心を持つ。また、太陽の特徴を見いだし恒星と惑星の特徴を理解する。地球の運動について知り、天体の位置関係を地球の自転と関連付けてとらえることができるようにする。さらに、太陽と地球、月との位置関係によって月の満ち欠け、日食がおこることを理解する。作図によって満ち欠けの理解を深める。
	後 半	第3章 月と惑星の見え方 1 月の満ち欠け 2 日食と月食 3 惑星の見え方	月の見え方 日食と月食について 惑星の運動のしくみについて	
3 学 期		単元5 地球と私たちの未来のために 1 自然のなかの生物 2 自然環境の調査と環境保全 3 自然の恵みと災害	生態系、炭素の循環 自然界のつり合いの変化 気候の特徴と自然災害	生態系では生物が生産者、消費者として相互に関連していることについて理解を深める。また、人間と自然のかかわり方について認識をし、人間の活動も含め様々な要因が自然界のつり合いに影響していることも理解する。さらに、自然がもたらす恵みや災害などについて調べ、人間と自然のかかわり方について考察する。

評価方法	1 定期試験の成績 2 学習態度等の平常点 1、2を本校評価法に合わせて判断する。
------	---

学習方法	1 実力練成問題集を用いた演習を行う 2 課題や問題集を用いて家庭学習を行う
------	---

注意事項	受身の姿勢で授業を受けても、理科という科目は全く深まることはない。主体的に学ぶ姿勢を大切にし、行動に移していかなければならないので、意識しておくこと。また、不明な点は適宜質問をすること。 実験を行う際には、実験室でのルールを厳守すること。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	実力練成問題集における今年度の既習内容について、各自ノートに演習すること。次回登校時にノートを集めるので、わかりやすくまとめておくこと。
-----------------------	--